

# 被災地支援10年間の取組総括

兵庫県は、25年前の阪神・淡路大震災で未曾有の甚大な被害を受けました。

しかし、全国の老人ク

ラブの皆様から多大なご支援を頂戴し、今日、復旧・復興を果たすことができています。

その後も、東日本大震

災をはじめ、熊本地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震など実に数多くの自然災害に見舞われ続けています。

兵庫県老連では、阪神・淡路大震災で頂戴した厚いご支援に感謝するとともに、全国の老人クラブの仲間が甚大な被害を受けた場合は、可能な限りの支援を行うことを決意し、この10年間、被災地支援に誠意を込めて取り組んできました。一例を挙げると、



**1 チャリティー・バザーの開催**  
県内の市町老連から寄託された物品を各種イベントで販売し、その収益を被災地支援へ活用。

**2 のじぎくクラブ兵庫農園の運営**  
じゃがいも・さつまいも・タマネギなど、本県が誇る農産物の農園を「のじぎくクラブ兵庫農園」として位置づけ、県老連役員やボランティアの有志により収穫し、被災地へ送付した。

**3 励ましの「元気うちわ」520本と熱中症予防の塩飴を岡山県老連へ送付（平成30年7月豪雨）。**

**4 被災地である愛媛県のポンカン240キロを購入し、福島県の大**

熊町老連と檜葉町老連、宮城県石巻市老連へ送付。

**5 市町老連の募金を広島県老連・社協・共同募金と北海道胆振東部地震被災者へ送金。**

など、この10年間で、総額約1億円余りを被災地へ支援としてお送りすることができました。

なお、今後の被災地支援については、

**1 本県が阪神・淡路大震災で頂戴した支援に対する感謝の思いは決して忘れないこと。**

**2 残念ながら、自然災害が相次ぎ恒常化する事態を踏まえ、今後の被災地支援は、県老連の支障のない範囲で行うこと。**

**3 ただし、東日本大震災のような阪神・淡路大震災を超えるような大規模被害が発生した場合、県老連として可能な限りの支援を行うこと。**

なお、東日本大震災への支援は、発災後10年となる本年度で一定の区切りとすることを決定しています。

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています


## 令和2年度の「のじぎくクラブ兵庫助成事業」は、下記の11団体に決定しました。

クラブ名	事業内容
弥生会岩園町老人会(芦屋市老連)	健康ヨガ体操
亀寿会(宝塚市老連)	スポーツを通じて行う「健康増進と地域交流」事業
光が丘美咲喜会(宝塚市老連)	グラウンド・ゴルフ会員増強事業
雲雀丘山手ひばり会(宝塚市老連)	「サロン女性の集い」の立上げ
池田老人クラブ連合会(加古川市老連)	地域活動に潤いを 花壇制作
今福老人クラブ(加古川市老連)	家庭菜園づくり
高畑北なごみ会(加古川市老連)	充実したクラブ活動、クラブの活性化に向けて
安田老人クラブ(加古川市老連)	コミュニティカフェ「ノット」「菜園カフェ」
高屋鶴亀会(豊岡市老連)	つるかめ全員集合
丹波篠山市老連今田支部(丹波篠山市老連)	高齢者の集い
三木市老人クラブ連合会	出前サロンの開設